



4年連続8位以内入賞へ
後半戦も負けられない！！

2つの競技で優勝！福岡県！後半戦は上々の立ち上がり！！

10月6日から国体の後半戦の日程がはじまった。後半戦は福岡県の高得点が期待できる種目が開催される。過去の実績からこれまで高得点を出し、全国でも活躍する選手が多いバスケットボール、自転車競技、陸上競技などで得点を多く獲得が見込まれる種目が行われる。

後半戦、ここからの福岡県の底力に注目したい。

馬術 2位を突き放し、圧倒的な強さで優勝！



水沢市の岩手県競馬組合水沢競馬場で行われている馬術競技会は、10月6日に最終日を迎えた。

少年トッスコア競技に仁田原知毅選手とザローマ（馬名）が出場し、福岡県選手団に吉報を届けた。トッスコア競技は、60秒間に競技場内の様々な障害を自由に飛び越え得点を重ねる競技である。仁田原選手は、2位の選手に100点差をつけて、1,600点の高得点を獲得し圧勝した。

レース後のコメントでは、「リスクをおってでも必ず勝ちにいきたいと思いレースに臨みました。自分が思い描いたレースが出来たと思います。」と、力強くこたえた。



自転車女子チームスプリントで優勝！



10月6日、自転車女子チームスプリント決勝が紫波自転車競技場で行われた。チームスプリントとは1チーム3名（女子は2名）で編成され、3周（男子は3周、女子は2周）のタイムトライアルで競われるレースだ。チーム全員が1列で疾走し、先頭の選手が1周ごとにチームから離れ、最後の1人がゴールしたときのタイムによって勝敗が決まる。児玉選手・大久保選手が決勝に進み、東京に約1秒差を付け47秒294で優勝した。

ラグビーフットボール女子・ハンドボール少年女子ともにベスト8確定！



10月6日、ラグビー女子が予選プールを戦い、1勝1敗で迎えた予選プール順位決定戦にて三重県に26-0と圧勝し、予選プール3位で決勝トーナメントに進出した。なお、決勝トーナメント1回戦は本県と競合している北海道である。

同日行われた少年女子ハンドボールは、1回戦で本県と競合している北海道に46-9で圧勝し、次の準々決勝では山口県と対戦する。

ボクシング 少年・成年ともに4名が2回戦進出！



10月6日ボクシング競技の1日目が行われ、少年男子の田中選手、草村選手、成年男子の内野選手、沖島選手の4名が勝ち、2回戦に進出している。

少年男子の田中選手は、「初戦で硬くなってしまった。明後日からは、調子を上げていきたい。」とコメントし、草村選手も「最終ラウンドに少しバテてしまった。次の試合は配分を考え、相手からパンチを貰わないように戦いたい。」とコメントした。成年男子の沖島選手は、「全くダメだった。次の試合は、気持ちをしっかり高めて、いい試合にしたい。」と3名共に勝利の中にも目標達成に向け油断は見られない。沖島選手の準々決勝の相手は、九州ブロック大会の決勝で惜しくも敗れた相手とのリベンジマッチだ。

なお、ボクシング競技は、10月10日まで行われる。



【各競技入賞者】 (10月6日終了時点)

競技名	種目	名前	所属	順位
自転車	男子チームスプリント	小林 和希 梶原 大地 梶原 海斗	明治大学 中央大学 祐誠高等学校	6位
	女子チームスプリント	児玉 碧衣 大久保 花梨	日本競輪選手会 日本競輪学校	1位
馬術	少年トップスコア	仁田原 知毅	東海大学付属福岡高等学校	1位

Team 福岡の現在状況と今後の展望

【順位変動から】

右表は、10月6日終了時点での男女総合成績を示しており、本県は、前日から1ランクアップの11位に位置している。東京・埼玉・神奈川の順位が定着傾向にある中、自力を持っている大阪・千葉が順位を上げてきている。福岡も順位を上げているものの、8位入賞圏内には、例年競合する北海道・兵庫の他、開催県の岩手、福岡より昨年上位の千葉が位置している。また、10位の岡山は、一昨年13位、昨年11位と確実に順位を上げてきており、後半戦に向け、油断できない存在である。更に、来年開催県となる愛媛が12位に位置し、本県を猛追しており、例年には見られない混戦状態にある。

【得点傾向から】

グラフは、過去4日間の得点傾向を示している。現在1位の東京から埼玉、神奈川、大阪、愛知までの上位5都・県は、安定的に上位にあることから、8位圏内に入るためには、グラフ内の道・県で上位3位以内に入る必要がある。

各特徴を以下に示した。

北海道：ブロック予選がないため、全競技種目にエントリーしており、例年順位が落ちにくい。

岩手：開催県であり、後半も確実に得点することが予想される。

千葉：2年前の10位から奮起、昨年は7位であり力がある。

兵庫：ウェイトリフティング等、前半の得意競技で先行したものの、その後も堅実に得点。

岡山：団体競技の複数入賞や馬術・ライフル等の個人競技でも高得点。

愛媛：来年の開催県で、計画的な強化が行われており、後半戦も高得点する可能性が高い。

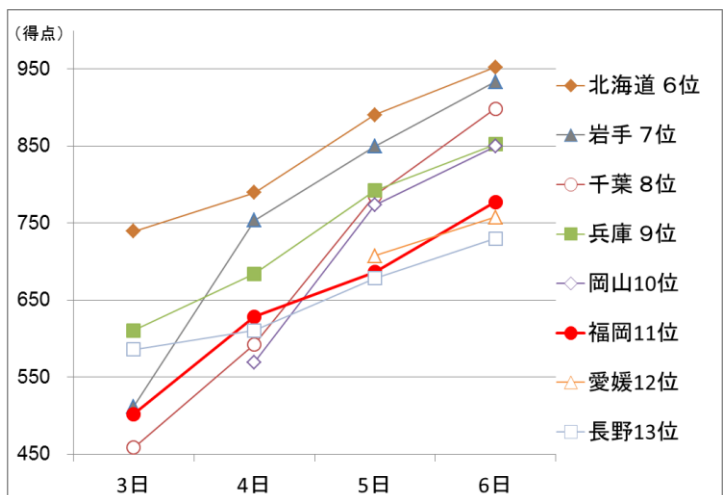
長野：冬季競技のリードを活かし、例年と同様な得点傾向にある。

いずれも本県の目標に対し競合する状況にあるが、開催県の岩手、昨年7位で急激な得点傾向が見られる千葉に勝つことは厳しいと予想されることから、愛媛、岡山を牽制しつつも、北海道、兵庫に追いつくことが最低条件と考えられる。

敗退した後の順位決定戦でも、早急に目標と気持ちを切り替え、高いモチベーションを維持して1点の獲得に全力を尽くしていただきたい。

男女総合成績(天皇杯)10月6日終了時点

順位	都道府県名	合計得点	前回大会順位
1位	東京	1498.5	2位
2位	埼玉	1129	4位
3位	神奈川	1035	6位
4位	大阪	1028.5	5位
5位	愛知	971	3位
6位	北海道	952.5	9位
7位	岩手	933.5	16位
8位	千葉	898.5	7位
9位	兵庫	852.5	12位
10位	岡山	849.5	11位
11位	福岡	777.5	8位
12位	愛媛	757.5	13位
13位	長野	730	14位



【グラフ：10月3～6日の得点傾向】

国体の情報については、大会ホームページ (<http://www.iwate2016.jp/>) より、御覧ください。

【発信元】(公財)福岡県スポーツ振興センター スポーツ振興課 企画情報係